

# 1 特色 資質・能力を確かに育てる教科書

## 1 特色1 わかりやすい問題解決的な学習と豊富なQRコンテンツ

定評ある「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、社会科の問題解決的な学習をわかりやすく進めていくことができます。また、各学習段階に応じて設けられた豊富なQRコンテンツとの相乗効果で、学習の質をさらに高めます。

### 学習の質を高める「問いの構造」

全ての単元に、単元のため、小単元の学習問題、本時のためを構造的に紙面に明示し、問題解決的な学習を効果的に進められるようにしています。

各見開きの左ページ側注には、「本時のため」を明示し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしています。

- つかむ**  
 わたしたちは、毎日どのくらいの水を使っているのでしょうか。  
 4年 P.34
- 調べる**  
 じょう水場では、どのようなことをしているのでしょうか。  
 4年 P.38
- まとめる**  
 水はどのようにつくられ、送られてくるのか話し合い、黒板に整理しましょう。  
 4年 P.46
- いかす**  
 かぎりある水を使い続けるために、自分たちにできることを考えてみましょう。  
 4年 P.48

**「つかむ」**  
 主体的な学びを意識し、見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができるよう、「学習計画を立てる」場面を重視しました。→本資料 P.22-23

**「調べる」**  
 対話的な学びを意識しながら、学習問題について追究します。

**「まとめる」**  
 小単元ごとに「まとめる」段階を設け、多様な表現活動を提示しています。→本資料 P.15

**「いかす」**  
 「いかす」段階では、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりする場面を多数提示しました。→本資料 P.8-9

**めあて**  
 わたしたちのまちの健康で住みよいくらしをささえているしくみや人々の働きを調べてみましょう。  
 4年 P.33

**学習問題**  
 わたしたちの生活に欠かせないたくさんの水は、どこでどのようにしてきれいになり、送られてくるのでしょうか。  
 4年 P.36

**「単元のため」**  
 単元の学習のねらいを明確にします。  
 4年 P.33

**「小単元の学習問題」**  
 小単元の学習問題をわかりやすく示しています。「まとめる」場面では再提示し、学習問題のふり返りを促します。  
 4年 P.36

**1 水はどこから**

**つかむ**  
 わたしたちは、毎日どのくらいの水を使っているのでしょうか。

**わたしたちが使う水の量**  
 金沢市に住むしおりさんたちは、日ごろどのような場面で水を使っているか、話し合いました。

「学校では、プールや手をあらうときに使っているね。」  
 「家では、料理をするときやせんたくをするときにも必ず使うよ。」  
 「農家や工場でも、たくさんの水が必要だし、火事が起きたら、たくさんの水がないと消火できないよ。」

**まなびのポイント**  
 ・日ごろ、どのようなときに水を使うか考えよう。  
 ・一人が1日に使う水の量や、市で使われる水の量について資料をもとに話し合おう。

**立方メートル**  
 たて、横、高さがそれぞれ1mのように入る量を1m<sup>3</sup>(立方メートル)といいます。1m<sup>3</sup>は、1Lの牛にゅうパック1000本分です。

**学習のはじめに見よう**  
 ・わたしたちが使う水の量

## 各学習段階にQRコンテンツを位置づけ

各学習段階に応じて、個別でも協働でも活用できる豊富なQRコンテンツを収録しています。ここでは一部をご紹介します。

### ●わたしたちが使う水の量

4年 P.34-35



### ●学習のはじめに見よう

4年 P.35

### 学びを広げるQRコンテンツ

教科書の該当箇所から二次元コードを読み取ることで、導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。→本資料 P.10-13、P.32-33



**まなびのポイント**

- 日ごろ、どのようなときに水を使うか考えよう。
- 一人が1日に使う水の量や、市で使われる水の量について資料をもとに話し合おう。

### 主な学習活動を示した「まなびのポイント」

本時の学習のポイントとなる活動や問いかけを示し、見通しをもって学習を進められるようにしています。→本資料 P.6-7

## 主なQRコンテンツの例

### つかむ シミュレーション



**●見てみよう まちの様子**  
 教科書の見開きイラストを拡大して見ることができます。

### 調べる インタビュー



**●札幌市雪対策室の人にインタビュー**  
 「〇〇さんの話」を、インタビュー動画でさらに詳しく知ることができます。

### まとめる ワークシート



**●まとめるワークシート**  
 「まとめる」場面に活用できるワークシートです。

### いかす 思考ツール




**●ダイヤモンドランキングで考えよう**  
 端末上で思考ツールを操作し、自分でダイヤモンドランキングを作成することができます。







# さらに充実した「見方・考え方」

「社会的な見方・考え方」について、ドラえもののイラストが目印の囲みを主な見開きごとに示しました。設定する箇所を再検討するとともに、イラストもよりわかりやすく一新しました。

## 「社会的な見方・考え方」(視点や方法)と問いの例

<p>「タケコプター」を使うドラえもん</p>  <p><b>位置や広がり</b> に着目 (位置や空間的な広がり)</p> <p>&lt;問いの例&gt; ・どのような場所にあるか ・どのように広がっているかなど、分布、地域、範囲などを問う視点を提示しています。</p>	<p>「タイムマシン」に乗るドラえもん</p>  <p><b>時間</b> に着目 (時期や時間の経過)</p> <p>&lt;問いの例&gt; ・なぜ始まったのか ・どのように変わってきたのかなど、起源、変化、継承などを問う視点を提示しています。</p>	<p>話し合いをするドラえもん・のび太・しずか</p>  <p><b>かかわり</b> に着目 (事象や人々の相互関係)</p> <p>&lt;問いの例&gt; ・どのようなつながりがあるか ・なぜこのような協力が必要かなど、工夫、関わり、協力などを問う視点を提示しています。</p>	<p>考えをひらめくドラえもん</p>  <p><b>比べる、分類する、総合する、関連づける</b></p> <p>比較・分類、総合、関連付けなど、さまざまな考え方(方法)を提示しています。</p>
---	---	--	--

ドラえもののイラストの種類によって、「見方・考え方」が一目でわかります

<p>昔とくらべて、どのようなところがかわってきたのかな。</p>  <p>3年 P.120</p>	<p>古墳は、どのように広がっているのかな。</p>  <p>6年歴史編 P.20</p>
<p>自分たちのまちとにているところや、ちがうところはどのようなところかな。</p>  <p>4年 P.164</p>	<p>日本の輸入品は、どのように変わってきたのかな。</p>  <p>5年下 P.35</p>
<p>海津市の地形は、どのようなになっているのかな。</p>  <p>5年上 P.23</p>	<p>日本国憲法は、わたしたちの暮らしとどのようなつながりがあるのかな。</p>  <p>6年政治・国際編 P.9</p>

## 各学年の紙面をご紹介します

●市の交通の様子 3年 P.31



位置や空間的な広がり  
市の交通機関の分布に着目させ、市の交通の広がり理解できるようにしています。

交通機関が集まっているのは、どのあたりかな。


次に、土地の使われ方の地図とくらべながら、市の交通がどのように広がっているのか、話し合いました。

「博多や天神に大きなたて物や店が多いのは、交通きかんでたくさん人が集まるからだと思います。」

「工場やそう庫は海や空港の近くに集まっているね。」

「海や空港の近くには、高速道路も走っているから、工場やそう庫の物を運ぶのに、べんりだと思います。」

●ニュース番組をつくる現場 5年下 P.54



つかむ  
番組をつくる放送局について話し合っ

ニュース番組の制作には、どのような人たちが関わっているのかな。

ニュース番組をつくる現場 ひなさんたちは、ニュース番組がどのように放送されているかを考え、疑問に思ったことを出しました。

「ニュース番組で放送される情報は、どのようにして集めているのでしょうか。」

「はなれた場所の映像や情報は、どうやって集めたり、とどけたりしているのかな。」

「どのようにしてニュースにするのでしょうか。」

「どうして内容によって放送時間の長さがちがうのでしょうか。」

事象や人々の相互関係  
ニュース番組の制作にかかわる人々に着目させ、気づいたことや疑問をもとに学習問題へつなげていきます。

●金沢市の水道のうつり変わり 4年 P.42



調べる  
じょう水場ができる前は、市内の水はどのように使われていたのでしょうか。

音  
金沢市の水道のうつり変わり しおりさんたちは、じょう水場ができる前の市内の水道の様子について調べました。

「昔は、川や井戸、用水などから水をくんで、飲み水として使っていたそうだよ。」

「川の水をそのまま使っていて、こまったことはなかったのかな。」

今  
水の入手方法は、どのように変わってきたのかな。

じょう水場の橋本さんの話  
金沢市では、90年ほど前までは、井戸水や用水の水をそのまま生活に使っていました。しかし、市の人口が増えるにつれ、生活に必要な分だけではなく農業や消防に使う水も足りなくなることがありました。また、水質の問題で病気が起こることもありました。そこで、市は1930(昭和5)年に、じょう水場をつくるなど、水道のしせつを整えていきました。

時期や時間の経過  
水の入手方法の移り変わりに着目させ、水道の歴史と今の健康な生活には関係があることを理解できるようにしています。

●フランスの人々の生活の様子 6年政治・国際編 P.81



比較  
日本とフランスのくらしの共通点や違いを比較させ、世界の人々の多様な生活について考えを深めます。

ひなさんは、フランスの人々の生活についてデュボワさんについて、メモに整理しました。

- ・地方の町や村では地産地消が基本で、大都市とはちがいでゆったりした生活を送る人が多い。
- ・各地に、古くから残る石づくりの家がある。しっかりしたつくりで、夏は涼しく、冬は暖かくて過ごしやすい。
- ・フランスには、あまりものを持たず、良いものを大切に長く使う人が多い。
- ・民族衣装は、ドイツとの国境にあるアルザス地方のものがある。お祭りやイベントなどのときに着て楽しむ。

日本のくらしと似ているところやちがうところは、どのようなところかな。

フランスのくらしと似ているところやちがうところは、どのようなところかな。

特色1 3 わかりやすく学習活動を示した「まなびのポイント」

全学年で、「まなびのポイント」として学習活動をわかりやすく例示しました。学習段階に応じた学習活動を例示することで、小単位を通じて「主体的・対話的で深い学び」につながるようになっています。

まなびのポイント

3年・4年

各見開きに「まなびのポイント」を例示しています

つかむ 主体的な学習活動



1 風水害からくらしを守る

**つかむ** 風水害からくらしを守る人々の働きについて考え、学習課題をつくりましょう。

風水害から人々を守る 千葉市に住むおさんたちは、2019（令和元）年に起きた風水害の写真などを見ながら、気づいたことを話し合いました。

「台風によるぼう風でたくさんのお家の屋根が飛んだり、大雨でこう水や土砂がずれが起きたりしています。」

「消防やけいさつ、自衛隊が出動し、救助活動をしています。」

くわしく知りたくなったりおさんたちは、市役所の人にメールで質問しました。

**まなびのポイント**

- 地いぎで最近起きた風水害について調べよう。
- 学習課題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

市役所の大久保さんからのメール

令和元年の風水害の際、市では災害対策本部を立ち上げました。ひがいしょうほうを兼ね、消防やけいさつと協力したり、ひなん者のしえんをしたりしました。広いはいて長期間で電気が続いたり、こう水や土砂がずれが起きたりするなど、市だけではなく千葉県全きで大きなひがいがありました。近年、大雨がふえてきているので、風水害へのそなえがより大切になっています。

「県全体で、大きなひがいがあったんだね。人々はこれまで、風水害をどのように乗り越えてきたのかな。」

市役所の人にメールで質問しました。

**まなびのポイント**

- 学習課題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

**学習問題**

風水害からくらしを守るために、だれが、どのような取り組みをしているのでしょうか。

**調べること**

- これまでの風水害への取り組みを調べる。
- 県や市、地いぎや家業での風水害へのそなえについて調べる。

**調べ方**

- 市や、県や市のウェブサイトで調べる。
- 親子やお友達とてくんに、メールやインタビューを調べる。

**まとめ方**

- ノートに整理してまとめる。
- 学習のしはじめに見よう。
- 学習計画ワークシート

●風水害から人々を守る 4年 P.74-75

「つかむ」段階では、主に「主体的な学びにつながる学習活動を重視しています。」

学習活動を例示

**まなびのポイント**

- 地いぎで最近起きた風水害について調べよう。
- 学習課題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

New 5年・6年

高学年では主な見開きに例示し、学習効果を高めています

まどめる (深く) 考える学習活動

**食料生産をよさくする米づくり**

米づくり新聞

米づくりに関する記事とグラフ。米の生産性や消費者の立場から米づくりについて考える内容。

**まなびのポイント**

- 学んだことを新聞にまとめ、消費者や生産者の立場からこれからの米づくりに関して自分の考えをもとう。

●新聞にまとめる 5年上 P.91

適宜「まなびのポイント」を例示し、「主体的・対話的で深い学び」を意識した、問題解決的な学習を進めることができるようにしています。

調べる 対話的な学習活動

6月 7月 8月 9月 10月 11月

あまおうづくりの1年間

あまおうづくりの1年間、おさんたちは、西区であまおうをつくる久保さんの畑に見学へ行き、話を聞きました。

あまおう農家の久保さんの話

家族で、手間をかけて、あまおうを大切に育てています。あまおうづくりは作業のおくれがゆるぎません。しっかりと計画を立てて、早めに作業を進めることが大切です。とくに、3月から4月は同時にたくさん作業をするので、おくれないように、注意がひつようです。

西区あたりは、日当たりがよく、水はけのよい土地が広がっています。冬でもひかてきたあたたか、あまおうをつくるのにできています。

**まなびのポイント**

- 学習計画の「調べる」をもちに、畑の様子を見学しよう。
- 見たり聞いたりしてわかったことをメモしておこう。

●あまおうづくりの1年間 3年 P.46

「調べる」段階では、主に「対話的な学びにつながる学習活動を重視しています。」

**まなびのポイント**

- 学習計画の「調べる」をもちに、畑の様子を見学しよう。
- 見たり聞いたりしてわかったことをメモしておこう。

いかす (深く) 考える学習活動

県内の特色ある地いぎのよさを伝えよう

そうさんたちは、これまで調べた特色ある地いぎについてふり返り、自分たちのまちとくらべて、気づいたことを話し合いました。

県内の特色ある地いぎのよさを伝えよう

次、これまでにつくった4コマCMや、写真を活用して、それぞれの地いぎの特色をしょうかいする三角ポストをつくり、学校のろうかにてんじすることになりました。

**まなびのポイント**

- 特色ある地いぎと自分たちのまちの様子をくらべて気づいたことを話し合おう。
- 三角ポストをつくり、県内の特色ある地いぎのよさを説明しよう。

●県内の特色ある地いぎのよさを伝えよう 4年 P.164

「まどめる」「いかす」段階では、主に「(深く)考える」学びにつながる学習活動を重視しています。

**まなびのポイント**

- 特色ある地いぎと自分たちのまちの様子をくらべて気づいたことを話し合おう。
- 三角ポストをつくり、県内の特色ある地いぎのよさを説明しよう。

調べる 対話的な学習活動

ヨーロッパ人の来航

戦国大名が日本の各地で戦っていたころ、ヨーロッパ人がアジアに進出していました。日本にも、スペインやポルトガルと

ポルトガルの勢力範囲

スペインの勢力範囲

戦国大名が日本の各地で戦っていたころ、ヨーロッパ人がアジアに進出していました。日本にも、スペインやポルトガルと

戦国大名は、なぜヨーロッパとかかわろうとしたのかについて考え、話し合おう。

●ヨーロッパ人の来航 6年歴史編 P.68

特色1 資質・能力を確かに育てる

特色2 子供の学びを広げる

特色3 授業づくりをサポートする

学びを広げるその他の特色

デジタル関連商品・指導書

# 特色1 社会的な事柄に参画・提案する場面「いかす」の充実

今日の教育課題にかかわる箇所を中心に、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面を設けました。

## ●自分たちにもできること

火災や交通事故についての資料を見て、くらしを守るために自分たちにできることを話し合い、標語をつくる活動を提示しています。

3年 P.114-115

### 3 暮らしを守る

1 主な火事の原因

2 自転車の交通事故の件数(千葉県)

4 地いせいで行われる防災訓練の様子

5 地いせいの人々による交通安全のよびかけ

#### 「安全なくらしのために、自分たちにもできることがありそうだね。」

あやかさんたちは、火事や事故・事件からくらしを守るための標語をつくることにしました。

**火の用心 主役はいつもわたしたち**

あやかさんの標語

**守ろうよ みんなのさまり事故ふせく**

あやかさんの標語

くらしを守るためには、みんなの心がけも大切だよ。

交通安全を守るには、自分たちの心がけも大切だよ。

短い文にまとめるのはむずかしかったよ。つくった標語は、みんなにつたえたいです。

### マイ・タイムラインでそなえを点検

りおさんは、風水害が起きたときに必要なそなえや行動がとれるか、マイ・タイムラインをつくってたしかめました。

「ハザードマップや非常持ち出し品の表が役に立ちそうだね。」

「自分の安全を守りながら地いせいでできることも考えたね。」

マイ・タイムライン

作成日: 2022年10月15日 名前: 佐藤りお

レベル1: 自宅の備え

レベル2: 家族の連絡

レベル3: 避難場所の確保

レベル4: 避難経路の確認

レベル5: 避難行動の開始

4年 P.88-89

## ●食料生産の新たな取り組み

これからの食料生産について調べてきたことをもとに、食料生産の新たな取り組みについてさらに調べ、紹介し合う場面を設けています。

5年上 P.122-123

### 2 わたしたちの生活と食料生産

#### いかす

新しい食料生産のくふうをしようかしこい。これからの食料生産について考えよう。

食料生産の新たな取り組み これからの食料生産についてまとめたゆうとさんたちは、インターネットを利用して、食料生産の新たな取り組みを調べ、しようかしこい合うことにしました。

そして最後に、日本の食料生産の未来について自分の考えをまとめた。

地域の人たちが力を合わせて、生産、加工、販売まで行う取り組みは、まちの活性化につながるね。

最新の技術を活用することで、これまでに出産できなかったような食品も生産できるようになる。

それぞれの地域で生産される価値の高い農産物や水産物は、海外にも輸出できるのではないかな。

環境や資源を守りながら、農業や水産業にたずさわりたい人が仕事に就けるようにしてほしい。

最新の技術を活用することで、これまでに出産できなかったような食品も生産できるようになる。

5年上 P.122-123

### 1 わたしたちのくらしと日本国 2 国の政治のしくみと選挙

#### いかす

日本のさまざまな課題とそれを解決する方法について、優先順位をつけて考えよう。

優先順位をつけて考える 日本にはさまざまな課題があります。課題を解決して、すべての国民にとっての平和で安全な社会をつくるのが、国の政治の役割です。しかし、すべての課題をすぐに解決できるとは限らず、優先順位をつけ、順番に解決していくことが必要です。

下に示すのは、日本が解決を目指す九つの課題と、その課題の解決に向けた方法の例です。れんさんは、九つの課題と方法を比べながら、優先順位について話し合うことにしました。

#### 優先順位をつけて考える

れんさんは、九つの課題と方法を比べて、どれを優先して行うべきか、下のダイヤモンドランキングにまとめてみました。

ダイヤモンドランキングで考える 課題と方法の優先順位を決める

① 優先順位を、ダイヤモンドランキングにまとめてみよう。

② 自分と友だちのダイヤモンドランキングを比べながら話し合い、グループの意見をまとめ、発表しよう。

③ ほかのグループの発表と自分のグループの発表を比べて、気づいたことをノートにまとめよう。

6年政治・国際編 P.34-35

「いかす」段階にも、「一人一台端末」を活用できるQRコンテンツを適宜設けました。

### マイ・タイムラインをつくらうワークシート

学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」に「選択・判断」と示されている箇所を中心に「いかす」を提示しています。

学年	学習指導要領で「選択・判断」が示されている箇所	「いかす」の該当箇所
3年	内容の取扱い(3)イ	P.114-115 (単元「くらしを守る」)
4年	内容の取扱い(1)エ	P.48-49 (小単元「水はどこから」)
	内容の取扱い(1)オ	P.68-69 (小単元「ごみのしよりと利用」)
5年	内容の取扱い(2)ウ	P.88-89 (小単元「風水害からくらしを守る」)
	内容の取扱い(3)ウ	P.106-107 (小単元「残したいもの 伝えたいもの」)
5年	内容の取扱い(5)ウ	(下) P.124-125 (単元「わたしたちの生活と環境」)
6年	内容の取扱い(3)エ	(政治・国際編) P.106-107 (単元「世界の中の日本」)